

---

---

2016 年度（平成 28 年度）

# 事業報告書

平成 29 年 5 月 26 日

関西女子短期大学附属幼稚園

<園児数>

(単位：名)

学校名	入学定員	収容定員	H28年度在園児数(現員) H28.5.1				H27年度 卒園児数
			最年少	年少	年中	年長	
関西女子短期大学附属幼稚園	—	495	3	108	137	118	116
幼稚園 計	—	495	366				116

※最年少は満3歳児クラスを示す

<教職員の人数>

(単位：名)

学校名	専任教員数		計
	男	女	
関西女子短期大学附属幼稚園	1	18	19

(平成28年5月1日現在)

事業の概要（主な事業内容および進捗状況）

1. 生活環境・施設整備の充実と、楽しく活気ある幼稚園の構築

本園の特色である「お山のひろば」や園庭を活用して、同年齢の友達だけでなく、異年齢の友達と遊ぶことを意識的に取り入れることで、人とかかわる力をはぐくみ、社会性を育てることができた。また、園庭開放やオープンスクールにて、卒園生や近隣の未就園児の来園者数が増えてきている。未就園児の保護者も幼稚園の様子を知ることができ、広い園庭での遊びを楽しんでいる様子が見られる。

2. 保育実践力、教員として望ましい資質・能力の向上

教職員は職務を円滑に進めるために、研修会に積極的に参加し報告会を行うなど、情報や目標を共有しながら、お互いの立場を尊重し、信頼関係を深め、協働して園児の教育に励んでいる。

3. 魅力ある「子育て支援体制」の具現化

地域の学校教育・保育の需要をはじめ、子ども・子育てに係るニーズを調査し、その結果に基づいて、子育て支援ニーズへの本学園の対応を検討した。また、未就園児親子クラス「びよびよ、ころころクラス」の希望者が増え、受け入れ人数を増やして対応した。その中で、親子で新しいバスに乗り、園外保育も楽しむことができた。

4. 認定こども園等の具体的方策検討

認定こども園について、検討してきた結果、平成30年4月1日より、「認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園」へと移行することが決定した。現在、認定こども園申請に柏原市と話し合いの場を設け、法人本部と連携し準備を進めている。

5. 魅力的な広報活動の実施と園児の確保

日々の活動を中心に、園庭開放や行事の観劇会などで、保護者も園に来ていただき遊びに参加しながら、園の様子を知り、幼稚園体験ができるようにした。当幼稚園に入園予定の園児を対象に、幼稚園体験日を設け、親子で幼稚園生活の体験を楽しめるようにした。

以上